

開拓者

たち

89

水道、電気など設備

別に業者が入ることが多かった温浴施設のメンテナンスを一手に手掛ける「SPAエンジニアリング」を創業した。旅館やホテルで従業員の高齢化や人手不足が進む中、設備の修理履歴や部品の交換時期を管理するシステムを提供し、保守点検の効率化を勧める。

東京都出身で、工業

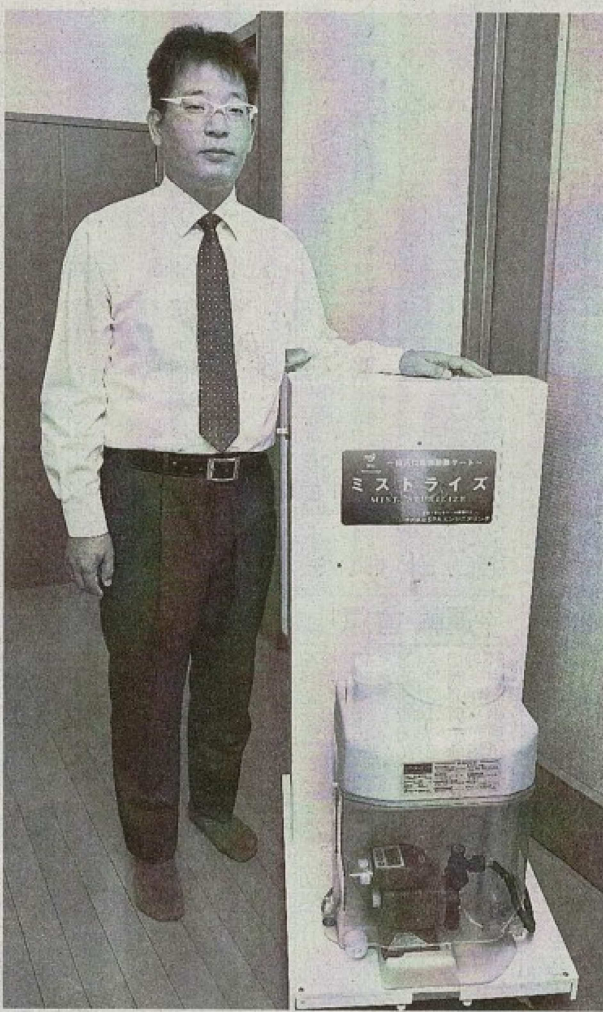
高校を卒業後は飲食店アルバイトや建設作業員などの職を転々とした。30代になり本県に移り住み、建設会社に就職して温浴施設の設備工事や点検整備を担当した。同時に都内と本県でバーやクラブなど3店舗を経営し、昼

温浴施設メンテナンス
「SPAエンジニアリング」社長

山本 元さん(50)

データ

安中市原市。資本金100万円。妻の桂さん(41)が取締役を務める。磯部や伊香保といった温泉地のホテルや日帰り温泉施設などの設備メンテナンスを手掛ける。問い合わせは同社(8027・335・6341)へ。



効率化で温泉支える

は会社に出勤、夜は店を切り盛りした。しかし、無理な生活がたたって40代前半で過労で倒れた。上司との意見の相違もあり、数年前に建設会社を退職してクラブを知人に

引き継ぎ、2018年9月に起業した。根底にあるのは「お客さん本位の仕事をしたい」という思い。「会社では利益に結び付かない仕事はすると言われた。お客さんが困

ってれば、いつでもどこへでも飛んでいくのが私のやり方だった」

ろ過装置やボイラー、エアコン、配管など幅広く点検整備を行うほか、水質やレジオ

ネラ菌の検査も担う。部品交換の際にただ同じ品番を手配するのではなく、同等の性能で安いものを探すなど顧客を第一に考えた対応が売りのだ。

温泉地で深刻化する人手不足に対し、業務効率化に資するツールの一つとして、修理履歴などをデータベース化してインターネットで閲覧できるようにしたサービスを提案。「時代に合わせて変えなければいけない部分は変えないと生き残れない」と指摘する。

磯部温泉組合の理事を務め、地域の活動にも精力的に取り組む。「決して派手な仕事ではないが、縁の下の力持ちでお客さんや温泉文化を支えていけたら」と力を込める。

未来

予想

ており、ホテル客室をリノベーションする仕事も来ている。ただの設備屋で終わりがたくない。お客さんを総合的にサポートできる会社になりたい。

新型コロナウイルス感染拡大に際して、電解水生成装置や次亜塩素酸水の噴霧器を開発し、販売とレンタルを始めた。噴霧器は安中市内の日帰り温泉施設などに納入した。